

社会福祉法人



Social Welfare Corporation Yume21 Fukushikai

夢21だより No.4



書初め 作：小林 和高 (まどか工房)

夢21福祉会の利用者紹介

夢21福祉会に所属している利用者は日中事業所135名、グループホーム50名（2019年12月17日現在）今回は一人の利用者をクローズアップしていきます。

【渡部京子さん紹介】

- ・1995年(平成7年)から
夢21西谷を利用する大ベテラン！
- ・結婚して、娘・かわいい孫がいます。
現在はヘルパーを利用しながら
市営住宅でひとり暮らし。
- ・全国肢体障害者団体連絡協議会（肢障協）では
23歳から事務局員！



きょうされん神奈川支部グッズデザイン入賞
京子さんの描いた絵がミニタオルになりました！



1955年(昭和31年)4月28日、鶴見区に生まれました。血液不適合で脳性麻痺になりました。リハビリのために「ゆうかり園」に7歳の時に入園し、小学校は3年から中学2年まで普通の学校に入りました。母はトイレと給食、送迎など、その時間ごとに学校に来てくれました。中学3年からは三ツ境養護学校に通いました。勉強は分かるまで教えてくれました。学校を出て、タイピストになりたくて、平塚の「きぼう荘」に1年入所しましたが、共同生活が出来なくて、2年目からは鶴見から平塚まで毎日通いました。

1年後に母が入院し、家の事をするために「きぼう荘」を辞めました。あちこちの作業所に行きました。当時の夢21西谷の所長だった佃さんに誘われて入所しました。40歳でした。みんなと作業しながらおしゃべりするのが楽しかったです。みんなと一緒に1日でも長くお仕事をしたいです。

結婚は親から自立するための道具でした（笑）。中区のアパートで生活保護を申請しました。子育てで大変だった事は、私の不注意でおしりに火傷を負わせてしまった事と、耳が悪く通院させたかったけど、子供にはヘルパーさんが使えなくて区のヘルパーさんを利用した事でした。

3年前の今頃でした。警察から兄が亡くなったと連絡がありました。孤独死でした。鶴見警察で事情を聞かれ午後から兄の家に行きました。家にはハエが飛び回り、死臭が充満していて気持ちが悪かったです。どうしたらいいか分からなかつたので作業所の職員さんに相談しました。



一泊旅行の思い出！



所長さんたちが弁護士さん、会計士さん、家の解体屋さんを紹介してくれました。兄の葬儀にも来てくれました。所長さんと弁護士さんが権利証を探すためにゴミ屋敷に入り探してくれました。相続はしたくなかったのですが、自分が相続を放棄すると娘が相続することで負担になると思い、仕方なく相続しました。その結果、年金と障害者手当が1年停止し、1割負担になってしまいました。

今年8月から自己負担がなくなり、10月からは年金がもらえるようになりました。食事提供加算がなくなり、昼食代が高くなってお昼ご飯は家で食べていましたが、加算も戻り、今はみんなとお昼も食べられるようになりました。

今後の活動は65歳になっても安心して地域で暮らせるようにすることです。私は介護保険は嫌なので、今までのサービスが受けられるよう役所にはがきを出しました。このような運動をこれからも進めていこうと思います。

63年間生きて思う事は、あんまりいい人生ではなかったけれど、娘と孫に会えて良かったと思います。周りのみんなに支えてもらいながら生きてきました。これからもこうして生きていきたいです。



地域交流

まどか工房 喫茶 madoka にてハロウィン

「トリック オア トリート！！」の掛け声と共にやって来る！

まどか工房の喫茶 madoka では、毎年地域交流行事としてハロウィンのイベントを開催しています。今回で 6 回目になるこの行事は、地域の子どもたちと、障がいのあるなしに関わらず垣根のない関係を築くことを目的として活動をしています。今年も利用者が手作りしたクッキーを受け取る子どもたちのうれしそうな顔が見られました。今年は下に映っている子どもたちがやってきました。見た目恰好は普通の”人間”に見えますが・・・。中身は”お菓子モンスター”的な”お菓子モンスター”のようです。このようにまどか工房は地域の方々と一緒に交流をしています。最後はみんな笑顔で「ポーズ！」また来年が楽しみですね。



地域のラジオ体操に参加

サンハイム緑園都市のある岡津新町町内会では、2016 年から「体操ひろば」という町内会活動が行われています。月曜、木曜、土曜の朝、公園に集まってラジオ体操をする企画です。参加人数は 70 名。健康増進はもちろんの事、近所付き合いの場としても盛り上がりを見せています。その中に、サンハイム緑園都市の利用者もいます。相澤肇さん、平山達也さん、茨木貴さんの 3 名です。特に茨木さんは、2017 年 3 月から 30 ヶ月連続参加、内 13 ヶ月は皆勤。とても積極的に取り組んでいます。

本人に話を聞くと、「体操は楽しい。ずっとやっていきたい。」と笑顔で答えてくれました。体操ひろばの役員であり、サンハイム緑園都市でも働くパートさんは「誰でも参加できる空間を目指しています。参加者は障害者へも配慮ができる人ばかり。サンハイム緑園都市の利用者は自ら挨拶をするので、自然と打ち解けることができました。これからも元気に参加してほしいです。」と話してくれました。

このような企画に参加でき、地域の一員となれるのはとても喜ばしいことです。これからも続けていきたいと思います。



重度訪問介護の課題 ~ 障害者の社会参加 ~

2019年7月、参議院選挙で2人の重度障害者の議員が当選しました。両議員が当選してから国会ではバリアフリー化が進められ、車いすのまま着席できるよう本会議場が改修、採決についても、参議院が採用している押しボタンを介助者が押す事、パソコンなどの音声機器を通じた発言、介助者の代読、記名投票の代筆を認める決定をしました。前例や慣習を重んじる国会としては異例のスピードで改善が進みましたが、その速さは、国会が障害者の存在を念頭に置いてこなかった事の裏返しとも言えます。

■重度訪問介護の利用・課題

国会のバリアフリー化が進む一方、「通勤、仕事でヘルパーが使えない」という制度の課題があります。「重度訪問介護」は、重度の障害があり、常時、介護の必要な人が食事・排せつの介護や、洗濯・掃除などの家事の支援を公費で受けられる制度です。**重い障害がある人には、生活全般を支える「重度訪問介護」が欠かせません。**しかし、就労・通勤など経済活動にかかる利用が制度の運用上できない事になっていて、そもそも「障害者が働く」事が想定されておらず、長年、障害者の社会参加を阻む壁となっています。

参議院は2人の議員活動中の介助費について、参議院が当面負担すると決めました。「議員歳費（議員としての給与）」で自費でヘルパーを雇えばよいのでは。」という声もありますが、ヘルパー代を払えるお金持ちの障害者しか働けないという「悪しき前例」になり本末転倒となってしまいます。この問題は国会活動だけではありません。排せつや水分補給といった支援が受けられず、働く機会を奪われている障害者が大勢います。**重度障害者の社会参加を助ける制度となっていません。**国會議員だから「配慮」されたというのではなく、障害者全体の問題として制度改善につながる議論のきっかけになってほしいと願っています。

新潟市や長岡市では、視覚障害者の市議の活動実績があり、現職のいる新潟市では点字で資料を作っています。さいたま市は本年度から在宅就労中も介護が途切れないようにする独自の支援を始めました。住民に近い地方自治体が制度の矛盾に気づき、必要なサービス提供に乗り出しています。10月、**厚生労働省は、仕事中・通勤中の介護も公的支援の対象とする制度改革を行う検討を始めました。**

日本が2013年に批准した「**障害者権利条約**」にも明記されていますが、障害者が他の人と同様に働き、政治にも参加できる権利があります。障害があってもなくても社会を構成するひとり。そして、私たちは事故や病気、老齢によりいつでも障害当事者になる可能性があります。障害者の総数は約963万人と推計され、人口の約7.6%。決して少なくない数です。**誰もが安心して暮らすことのできる共生社会の出発点**は、当事者の悩みに耳を傾けることです。社会の多様性を国会に反映させるためにも、障害者の社会参加を妨げる壁を早急に取り除く必要があります。

■重度訪問介護 ■ 障害者総合支援法

障害の重い方の地域生活をサポートするサービス。生活全般について介護サービスを手厚く提供することで、常に介護が必要な重い障害がある方でも、地域での生活が続けられるように支援。入浴、排せつ、食事、調理、洗濯、掃除、外出移動中の介護の支援を行う。

障害者権利条約

第27条 労働と雇用

障害者には、他の人と同じように、差別を受けることなく、自由に選んだ仕事をして働く権利がある。

障害者権利条約

第29条 政治的・公的活動の参加

障害者には、政治的な活動と公的な活動に参加する権利がある。国の法律で決められた年齢に達したら、障害の有無にかかわらず、組織を作る権利や、一般の人々のために活動する権利、投票する権利、政治家の選挙権と被選挙権を持つことになる。

夢21ホームの台風被害について

昨年の大型台風15号と19号について、ホームでの対応とまとめ

◆台風15号(9月8~9日)

- ・サンハイム仏向は土砂災害区域のため、全員別のホームに避難。
- ・サンハイム橋は翌日の16時ごろまで停電。IHクッキングヒーターが使えない、電動シャッターが開かない、トイレも停電時に使うレバーが機能せずに流せないなどの停電被害がでる。

◆台風19号(10月12~13日)

- ・サンハイム羽沢、羽沢IIで21時ごろから2時ごろまで停電。羽沢では非常灯のバッテリーが切れていたため、非常灯が点かず。そのため懐中電灯を使うが光量が足りず。また情報収集のための手回し式のラジオを使おうとするも動作せず。

◆まとめ

幸い怪我や物が壊れるなどの大きな被害はなかった。しかし、改めて台風時にはホームの周りの物を中にしまうことや、ランタン式の懐中電灯を準備すること、非常用ラジオの動作確認を行うこと、停電がありそうなときは早めに入浴し、湯船の水はためっぱなしにしておくこと、など多くのことを入居者と職員で確認できた。大型で勢力の強い台風は今後も来ることが予想されるため、しっかり備えることが必要と感じた。被害のあった地域では土砂や浸水による大きな被害に今も苦労しているグループホームがある。きょうされんを通じて夢21福祉会では災害募金を呼び掛けています。みなさま是非ご協力お願いいたします。

●郵便振替●

<口座名義>きょうされん自然災害支援基金

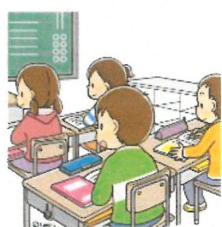
<口座番号>00100-7-86225



泉区飯田北いちょう小学校で福祉教育をしてきました

人権週間の12/10に飯田北いちょう小学校の4年生に福祉教育の授業で話をできました。伝えたことは次の3つです。①自分とは違う他人のことを考える②友達の良いところを見つける③理解できない人を排除するのではなく、対話をしよう！です。いずれも難しいテーマでしたがロールプレイをしながら楽しく意見交換できました。その中で「人を大切にする」「認めあう」「一人にしない」などのキーワードが子供たちからたくさん出てきたことは驚きもあり、嬉しくもありました。この1時間半の授業ですぐに何かが変わるとは思いませんが、子供たちと「人を大切にすること」について対話できる場は私にとっても大変ありがたい経験となりました。授業の後は一緒においしい給食（シチューと黒パン）をいただき、昼休みはドッジボールもやりました。誰もが生きやすい社会の実現は、地道な対話こそが可能にする気がしました。

夢21ホーム 山口



表紙絵 作者紹介

まどか工房 小林和高さん 書初め

小林和高さんは、まどか工房で働いています。2000年のまどか工房開所と同時に入り、来年4月で丸20年になる超ベテランです。現在は弁当製造に関わり、弁当箱や調理器具などの洗いを担当。多い時には1日に80食以上の弁当箱を洗うこともあります。グループホームでも食器洗いはお手の物です。

そんな和高さんの趣味は写真撮影。デジカメをいつも持ち歩き、いろいろな風景や大好きな乗り物を撮影しています。また毎年秋に開催される「ラポール美術展」に参加し、素敵な作品を出すなど文化活動にも積極的に関わっています。先日もとってもきれいな青空と富士山を撮影して見せてくれました。今回は「写真」ではなく、新春にふさわしく「書初め」に挑戦。職員からのオファーにもすぐに快諾。経験はあまりないものの、若い時にお姉さんの習字を見ていたのを思い出し、とっても素敵な筆さばきで書いてくれました。



書初めに挑戦する小林和高さん

夢21 福祉の職員紹介

夢21 福祉のグループホーム、作業所の職員についてみました。

この仕事に感じるところ、生まれ育った地元ならではの『お国自慢』を紹介します

2018年4月から夢21 上星川の職員として働いている

佐藤 輔(さとう たすく)です。

大分県の国東市で生まれ18歳まで過ごしました。如何せん田舎なので、なかなか自慢できることがすぐに浮かばないのですが、大分スポーツ公園競技場という施設があります。2002年のサッカーW杯開催地に立候補したのを受け竣工された施設で、球面状の屋根は楕円形に開閉し大きな目のように見えることから、県民には“ビックアイ”という愛称で親しまれています。昨年は一躍話題となったラグビーW杯の試合が行われました。会場周辺は各国のラグビーファンで大賑わいだったようで、地元がこんなに盛り上がる日が来るとは思いませんでした(笑)

地元の高校卒業後、高知大学に進学し福岡の企業に就職。そのままその企業で働くつもりでしたが、神奈川で働く交際相手と結婚する話になり、相手の方が高給取りだったため(笑)私が転職する決意をしました。それに加え、私の弟に知的障がいがあり、福祉の仕事、そしてこの法人に出会い、今に至ります。

様々な利用者さんと関わる中で大変なこともありますが、企業で働くのとはまた違った楽しさがあり、毎日が充実しています。私事ではありますが10年目の記念日でもある今年の8月に無事結婚しましたので、これまで以上に頑張っていきたいと思います。



理事長挨拶 佐藤文明

夢 21 福祉会の各事業所がある地域の方々そして利用者と家族、職員そして関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。

以前から高齢者の介護施設で「職員が集まらない」というニュースは聞いていましたが、昨年は障害福祉の世界も「職員の応募がない・採用できない」という事態がより一層深刻さを増した一年でした。法人にとって職員不足は単なる困り事ではなく、規定通りの職員が配置できなければ、違反として国からの運営費の一部を返還しなければならず、職員不足はまさに法人経営の危機に直結する問題です。すでに横浜市内では障害者本人と家族の熱い期待で開設されたグループホームが「職員がいない」という理由で閉所するに至ったという深刻な話も聞こえてきております。国民の切実な要望に答えるために大切な役割を果たしているのは介護や障害関連の事業所の現場で働く職員です。民間企業と比べ月額 10 万円の差があるとされる介護、障害関連職員の給与を始めとする労働条件の改善こそ手を付けなければならない緊急の課題です。法人としても運営費の増額がなければ労働条件の改善は実現できません。国・厚労省は「持続可能な福祉」を名目に運営費を削るのではなく社会福祉法人が職員の労働条件の改善に取り組め、かつ職員体制も安定するよう運営費の充実を計って頂きたいと切に願っています。

国会請願署名活動

～誰もが暮らしやすい社会のために～

最近の街頭署名では、募金はしてくれても署名は敬遠される事があります。しかし、このような状態だからこそ仲間・職員が街頭に立ち、市民に直接訴えていくことが大切です。

12 月から第 43 次国会請願署名が始まりました。旧優勢保護手術を受けた方に対する一時金支給等に関する法律、障害年金、来年度の報酬改定、65 歳問題、地域活動支援センターの運営費などについて 5 項目をあげています。障害のある人の地域生活をより豊かにしていく為にも、私たちは今後もきょうされん国会請願署名に取り組んでいきます。皆さまご協力よろしくお願ひいたします。

法人施設一覧

<生活介護>

- ・夢 21 上星川
　└ 計画相談支援事業所
- ・夢 21 西谷
- ・まどか工房
- ・さかもとてらす

<グループホーム>

- ・夢 21 ホーム
　└ サンハイム羽沢
- └ サンハイム緑園都市
- └ サンハイム仏向
- └ サンハイム西川島
- └ サンハイム睦ヶ丘
- └ サンハイム橋

社会福祉法人 夢 21 福祉会

〒240-0043

神奈川県横浜市保土ヶ谷区坂本町 128 FKD ビル 102

HP : <https://yume21.net>

Mail : info@yume21.net

TEL : 045-334-0491 / FAX : 045-331-4653 (代表)

発行) 社会福祉法人 夢 21 福祉会

編集) 広報誌委員会

石井幸治 山口博之

青戸駿 中村利樹

岩崎小百合 小川智也